

2025 年 9 月 2 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮田 裕彦
(コード番号 6269 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部 (TEL. 03-5290-1240)

アフリカの海洋インフラ発展に向け、アフリカ金融公社と協力協定を締結

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮田 裕彦)は、この度、アフリカ金融公社(Africa Finance Corporation、以下「AFC」と)、FPSO(Floating Production, Storage & Offloading system:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)プロジェクト及びその他のアフリカにおける海洋インフラプロジェクトに関する協力協定を締結しました。

AFC は、アフリカにおけるインフラ・産業投資を推進する 2007 年に設立された多国間金融機関で、加盟国は 45 カ国、累計投資額は 150 億米ドル超にもなります。本協力協定は、海洋インフラ分野における技術調査、市場調査、金融ソリューションの設計、そして将来の潜在的なプロジェクトの開発に関する今後の協力・情報交換を目的とした連携体制を構築するものです。署名式は、今般開催された第 9 回アフリカ開発会議(TICAD 9)のために AFC が来日した際に実施しました。



署名式 右: アフリカ金融公社 President & CEO Samaila Zubairu 氏
左: 三井海洋開発 代表取締役社長 兼 CEO 宮田 裕彦

当社はこれまでに、西アフリカで FPSO、FSO^{※1}、MOPU^{※2}、TLP^{※3}を合計 11 基納入した豊富な実績を持ち、現在もガーナの FPSO Prof. John Evans Atta Mills のチャーターサービス及びセネガルの FPSO Léopold Sédar Senghor のオペレーション & メンテナンスを提供しています。アフリカは当社にとって高い成長性を有する重要な市場であり、引き続き海洋分野のソリューションを通じてアフリカの持続的な発展に貢献してまいります。

<ご参考> 当社の西アフリカでの実績 <https://www.modec.com/jp/project/westafrica.html>

- ※1 FSO (Floating Storage and Offloading system): 浮体式海洋石油・ガス貯蔵積出設備。石油・ガスの生産設備を搭載していない、貯蔵・積出専用の浮体式設備。
- ※2 MOPU (Mobile Offshore Production Unit): 移動式生産設備。ジャッキアップリグを利用した石油・ガス生産用プラットフォーム。
- ※3 TLP (Tension Leg Platform): 緊張係留式プラットフォーム。

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発 (MODEC) は、FPSO (Floating Production, Storage & Offloading system: 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備) をはじめとする海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油ガス・生産設備の設計、建造、リース、チャーター、オペレーション&メンテナンス・サービスを提供する日本で唯一の企業です。

<https://www.modec.com/jp>